

# YOSANO

広報よさの

No.76



●主な記事

02 特集 協働によるまちづくり

18 よさの人

●今月の表紙

阿蘇海一周マラソン（5月12日撮影）

2012

6



# 特集 ◎協働によるまちづくり 6年間のあゆみ



5月24日、与謝野町のまちづくり全体の基本的な計画である総合計画を策定する「与謝野町総合計画審議会」（会長：足立経彦氏）が開催され、後期基本計画（計画期間：平成25～29年度）に記載する現状と課題（案）確認されました。策定にあたっては、住民から選ばれた委員による「地域振興」、「教育・福祉・環境」、「産業・建設」の3つの専門部会と職員の合同会議において、これまで取り組んできたまちづくりの主な内容と成果の確認、現在の課題の洗い出しが行われ、さらに地域で活躍するまちづくり団体との懇談会でご意見を伺うなど、住民参加の計画づくりを行ってきました。

今月号では、これまでのまちづくりへの理解を深め、さらなる協働のまちづくりを進めるため、与謝野町誕生後6年間のまちづくりの主な実績を総合計画の6つの施策体系に分類してお知らせします。



5月24日に開催された総合計画審議会



上/子育て支援センターで交流を深める親子  
下/小規模多機能型居宅介護施設と障害者グループホームの併設施設「みんなのうちは野」



## ■第1章 安心と生きがいのある 福祉のまちづくり

### ●子育て支援ネットワークの充実

健やかに子どもを産み育てる環境づくりの施策として、中学校卒業までの児童・生徒の医療費自己負担額を200円とする子育て支援医療助成制度については、子どもたちの健康保持・増進に役立っており、多くの方に喜ばれています。

子育てに関する支援や情報提供・交流の拠点として、相談や指導、交流事業を行う子育て支援センターを加悦地域に開設し、3地域すべてにおいて子育て支援体制の強化を図ることができました。

保育所（園）については、少子化

による園児数の減少、正職員の減少、施設の老朽化とともに子どもを育てる家庭の多様な生活スタイルに対応した保育ニーズにこたえるため、就学前の子どもへの幼児教育・保育の一体的な提供も視野に入れ、適正規模・適正配置やサービスのあり方の総合的な検討を進めています。

### ●高齢者・障害者福祉 ネットワークの確立

高齢になっても障害があっても、住み慣れた地域の一員として生活できる福祉のまちづくりを目指し、地域密着型福祉施設の整備や多様なニーズに対応できる障害者（児）福祉施設の整備に力を入れました。特に、昨年加悦地域に整備された小規模多機能型居宅介護施設と障害者グループホームの併設施設は、府内でも珍しい取り組みとなり、本町が目指す地域共生型福祉の先駆けとなりました。現在、特別養護老人ホーム、在宅複合型施設、障害者就労支援施設等の整備が進められています。

### ●健康づくりと地域医療体制の充実

国民健康保険特定健診とがん検診の無料実施や、各種健康教室、大学や民間企業と連携した足からつくる健康プロジェクト事業等の実施により健康づくりを進めました。



男女がともに輝く社会へ。男女共同参画を推進しています

地域医療体制については、宮津市休日応急診療所など、休日の医療確保に努め、また、ドクターヘリのランドープポイント（離着陸場）を設置し、救急医療環境を整えました。

国保診療所については、地域の医療機関、在宅医療を推進する訪問リハビリテーションの拠点として機能しています。さらに外来リハビリテーション施設としてもサービスを展開し、今後も地域に根ざした医療機関として充実する必要があります。

### ●男女共同参画の推進

男女が互いに人権を尊重しながら責任を分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力をいかんなく発揮できるまちを目指し、男女共同参画推進委員会を設置し「男女（みんな）の和づくりプラン 与謝野町男女共同参画計画」を策定、「広報よさ」の掲載の4コマ漫画による啓発をはじめ、DV被害に対する支援、女性相談事業等を実施し、啓発・意識改革から少しずつ進めています。

2012 (H24)	2011 (H23)	2010 (H22)	2009
3	12	10	8
3	11	4	12
2	10	4	
1	6	3	
12	4	3	
	4	2	
	4	2	
	4	2	
	3	2	
	3	2	
	3	2	
	3	2	
	3	2	
	3	2	
	3	2	
	3	2	

2009 (H21)	2008 (H20)	2007 (H19)	2006 (H18)	年
3	12	12	11	3月
3	4	9	8	
3	4	8	5	
2	3	4	3	
1	2	3	3	
	2	3	3	
	2	3	3	
	2	3	3	
	1	3	3	
	1	3	3	
	1	3	3	

### 振り返ろう！ まちの歴史

協働によるまちづくりのあゆみとあわせて、与謝野町誕生から現在までの主な出来事も年表で振り返ってみましょう。





左／農機に給油されるBDF。与謝野町が推進する環境にやさしい農業のさらなるイメージアップが期待されます  
右／地域の消防防災の要となる消防団



「京の豆うこ米」など、与謝野町の農業の中心作物である米。秋には黄金色の稲穂が一面に広がり、美しい風景を見せてくれます

## ■第2章 伝統を活かし未来に チャレンジする産業づくり

### ●京の豆うこ米販路拡大と 学校給食への導入

本町の主要作物である米の有利販売を行うため、環境にやさしい農業有機質肥料「京の豆うこ」を軸とした自然循環農業に取り組み、「京の豆うこ米」のブランド化を推進しました。これにより、京の豆うこ米の作付けは、水稲作付全面積の約2割まで拡大し、また、自然循環農業の一翼である大豆の生産も約20%増まで生産を拡大しました。

さらには、与謝野町産米の学校給食への使用やリニューアールオープンした「リフレかやの里」へ地元農作物を供給することで地産地消の推進、雇用の創出を図ってきました。しかし、これらの農業振興を阻害する問題として、シカ、イノシシなどの有害鳥獣被害が相次いでおり、駆除や電気柵・フェンスの設置、被害の背景にある生息環境の回復など総合的な対策を講じています。

### ●産業振興ビジョンの策定 中小企業振興基本条例の制定

まちぐるみでの産業振興の指針と労働会議を設置し、アオサ、カキ殻漂着ごみの回収を実施。ポスターコンクールや、公民館・小学校へNPO法人等が出向いて環境学習を行い、子どもの頃からの環境意識の醸成にも取り組みました。さらに地球温暖化の防止と町内の環境改善を図るために「よさの百年の暮らし委員会」を設置し、町民や事業者、行政が協働して温室効果ガスの削減や環境問題に取り組む体制を整備しました。

### ●リサイクルの推進

リサイクルの推進としては、資源ごみのストックヤードを建設し、回収したごみの資源化体制を整えたほか、NPO法人を中心に回収した廃食油から精製したバイオディーゼルの燃料(BDF)の利用に取り組み、給油スタンドを整備、給食センター配送車やバキュームカー等での燃料の使用を始めました。BDFは、農機や重機への利用も進められており、循環型社会の一層の拡大が期待されます。

### ●ごみ処理施設の取り組み

可燃ごみと資源ごみについては、現在、宮津市清掃工場および宮津市リサイクルセンターで広域ごみ処理、再資源化を行っています。宮津市清掃工場については、施設使用期

して産業振興ビジョンを策定し、官民協働で振興策を検討する「産業振興会議」を設置しました。また、商工会への支援をはじめ、産業振興事業費補助金による創業、新商品・新製品開発、販路開拓等に対する支援、利子補給・保証料の補助など商工業者の支援や育成に努めています。

加えて、町内で製造・企画される商品のイメージアップと特産品づくりを推進するため、町優良産品認定事業を実施。事業者相互の交流とものづくりの推進を図るため、町優良産品認定業者会も設立しました。さらに、持続可能なまちづくりに

は、町内事業所の大多数を占める中小企業の発展が不可欠との考えから、その振興を重要課題として位置づけるため、「中小企業振興基本条例」を制定しました。事業者をはじめ、町民の皆さん、経済団体等、そして行政が中小企業の役割と重要性を共通して認識し、地域循環型経済の構築を図ることを基本理念に地域経済の活性化に向けて取り組みます。

### ●住宅新築改修等助成制度・有線テレビ加入促進補助金で地域経済を活性化

町内事業者によって実施された住宅改修等に対して20万円を上限に費



毎年、多くの方が参加している与謝野町防災訓練。各区の協力のもと、町内全域で開催しています

限が過ぎて稼働している状況のため、次期の施設整備に向けた「宮津与謝広域ごみ処理施設整備推進協議会」を平成23年度に設置し、循環型社会の構築に向けた新たな施設整備について協議がスタートしました。

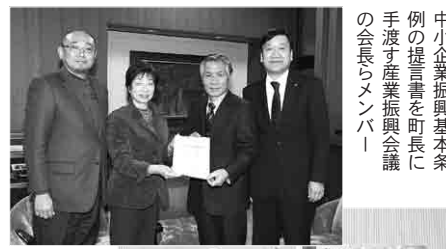
### ●防災体制の強化

デジタル防災行政無線整備およびFM告知端末との連携、全国同時警報システム(J・A・L・E・R・T)の整備、消防設備では消防団車庫の建替や耐震補強工事、消防車両の計画的更新、防火水槽などの消防水利の設置を推進しました。また、消防防災の地域の要となる消防団については、新たな試みとして日中の火災への対応するため消防団OBによる「消防団支援隊」を創設しました。防災情報等の伝達手段や消防設備は一定の整備ができましたが、現在、東日本大震災の教訓を踏まえ、津波・原子力災害に対する対策の強化、広域的な相互応援体制の確立と連携強化に取り組んでいます。

用の一部を助成する住宅新築改修等補助金助成制度を平成21年度から3年間実施しました。この制度では下水道への接続工事が多く行われ、地域経済の活性化と生活環境の両面で大きな成果を得ることができました。また、有線テレビの宅内配線工事に対して上限1万8000円を補助する有線テレビ加入促進補助金や、商工会の振興商品券事業についても、地域循環型経済構築の一助になったと考えられます。

### ●観光振興ビジョンの策定 昭和モダンとシルクの里

本町ではひとつの世界観「昭和モダンとシルクの里」にこだわり、徹底するという方向性が観光振興ビジョンによって明確にされました。観光協会をはじめ観光関係団体や商工会等との協働で行動プログラムの



中小企業振興基本条例の提言書を町長に手渡す産業振興会議の会長らメンバー



与謝野町優良産品カタログ。自慢の品々が並びます

## ■第4章 快適でやすらぎのある生活環境づくり

### ●阿蘇シーサイドパークの整備

森林公園や大江山運動公園などの公園が町民の憩いの場として広く活用されています。さらに天橋立が横一文字に見渡せる新たなビューポイントとして阿蘇シーサイドパーク(都市公園)を整備し、一部供用開始することができました。

### ●有線テレビ拡張事業により「放送・通信・防災」を一体に

3地域でばらばらだった情報通信基盤は、加悦地域で運営していた有線テレビ施設を岩滝・野田川地域に拡張して、「放送」「通信」「防災」を統合・連携したFTTH方式によるCATVネットワークの情報通信



阿蘇シーサイドパークに完成した遊具

パナールスタジオなど最新設備を備えたKYスタジオ

具現化に取り組んでおり、その一環として、鉄幹・晶子のイラストを活用したロゴマークによって統一イメージによる観光振興、「与謝野ブランド」化を図っています。また、商工会の主導によりちりめん街道の今後のあり方が検討され、取り組みが動き出しています。すでに、街道内では商工会青年部による「ちりめん茶屋」や、ちりめん街道を守り育てる会による織物見学施設がオープンしています。

さらに、鳥取豊岡宮津自動車道与謝天橋立IC出入口には、町のイメージ看板やイベント告知看板を設置するなど観光客の誘導を行うためのサイン・誘導・案内看板の整備を行いました。

## ■第3章 自然と安全を守る まちの基盤づくり

### ●自然環境の保全

広葉樹植栽の推進や田植え時の濁水流出を抑制する浅水代かきの取り組み、下水道の整備による河川水質の向上、また住民による一斉清掃(水路どろ上げ)など地域をあげての取り組みが継続されています。また、阿蘇海の浄化を図るため、他団体とともに阿蘇海環境づくり協

基盤整備に取り組みました。この基盤整備によって、地上デジタル難視聴地域の解消とブロードバンド環境が整い、地上デジタル放送、自主番組放送、多チャンネル放送(BS、CS衛星放送)、文字放送、データ放送、FM告知放送(デジタル防災行政無線と連携)など、町内で統一した規格のサービス提供を実現することができました。平成24年3月末現在で7720戸(全プラン合計)の加入があり、全世帯の84.5%と大変多くの方にご利用いただいています。

### ●下水道への統合推進と 下水道等の整備

本町の水道事業は、全ての簡易水道を平成28年度までに下水道に事業統合がすることが義務付けられたため、上水道化を見据えた整備計画を策定し、老朽化した施設の整備、施設の中央監視システムの構築を進めています。これにより、経済的で効率的な整備・運営・管理を行い、最少の経費で最大のサービスの提供を図ります。下水道等については、水洗化総合計画に基づき公共下水道、農業集落





左/毎年度開催している町政懇談会。皆さんからのご意見を協働のまちづくりに活かしています  
右/加悦地区の夏祭り。公民館を中心として各地区で活発なコミュニティ活動が展開されています



左/加悦谷ショッピングセンターウイルから町営バスひまわりに乗り込む買い物客ら  
右/耐震工事中の山田小学校。現在ではすべての小学校の耐震化が完了しています

排水、浄化槽の整備を計画的に進めています。公共下水道は普及率が90%を超え、農業集落排水事業も全計画区域の整備を完了しました。普及率については、大きく向上したものの、昨今の経済状況等により水洗化率がなかなか向上していない現状があり、下水道等への接続が課題となっています。

### ●交通不便地区解消のため町営バスひまわりを運行開始

公共交通においては、路線バスが運行しない地区にお住まいの方の日常の移動手段を確保するため、町営「コミュニティバスひまわり」の運行を開始しました。これにより町内の交通不便地区を解消することができ、買物・通院等の足として高齢者を中心に利用されています。また、丹後海陸交通の協力を得てバス停の新設、ショッピングセンターへの乗り入れを実現しました。

さらに野田川駅には、自転車道側への通用口を新設するなど公共交通の利便性の向上を進めています。KTR、丹海バス等の公共交通の経営は大変厳しい状況が続いており、地域住民の一層の利用が求められています。

## ■第5章

# 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり

### ●学校等の適正規模・適正配置

少子化に伴う児童、生徒数の減少と充実した教育環境の確保については、与謝野町教育・保育環境検討委員会で、統廃合ありきではなく、子どもたちの教育や保育の環境はどのようなあり方がよいのかという視点から慎重に検討され、平成21年5月「教育・保育環境のあり方に関する提言書」が町長に提出されました。この提言書を踏まえ、教育委員会が児童・生徒数等の現状および将来予測の再調査等を行い、「学校等の適正規模適正配置に関する基本方針」を策定、昨年9月に町長に報告されました。

今後は、保育所・幼稚園とあわせ、よりよい教育・保育環境の整備のため検討を進めます。

### ●全小学校の校舎・体育館の耐震化工事

現施設については、児童生徒の安全確保と災害発生時における地域住民の避難場所となる役割を担っているため、施設整備計画に基づき耐震補強工事を順次行い、加悦中学校を除く全ての小中学校において耐震化

が完了しました。加悦中学校においても全面改築を進めることとしています。

町名の由来でもある与謝野礼蔵・鉄幹・崑子や与謝蕪村といった地域ゆかりの文人らにちなみ、短歌・俳句を町の特色ある文化と位置付け、公募文芸賞、展覧会、文化講座等を積極的に行いました。これらの取り組みを通じて与謝野崑子や与謝蕪村ゆかりの団体との連携ができています。

### ●公民館活動の拡大

身近な地区公民館においても、地域コミュニティの拠点として、また生涯学習の場として、公民館活動の取り組みを広げるためのモデル事業を実施しました。これにより、全ての地区公民館において地区公民館活動推進事業の取り組みが行われるようになり、館長や主事の研修会などにより指導者の育成にも取り組んでいます。



園芸教室など公民館活動が活発に行われています



建物の保存・修理が進められているちりめん街道

「ちりめん街道」の活性化  
ちりめん産業の発展とともに伝統的な町並みが形成された加悦伝統的建造物群保存地区の「ちりめん街道」は、同地区保存計画や防災計画に基づき、建物の保存修理が進み、町並みの景観が少しずつ改善されています。ちりめん街道の代表的な建物である「旧尾藤家住宅」は、地域住民らで組織される「ちりめん街道を守り育てる会」により運営されています。また、同会をはじめ観光協会、商工会等により「ちりめん街道活性化委員会」も組織され、活性化の取り組みが進んでいます。

## ■第6章

# 協働で進めるまちづくり

### ●行政改革の推進

少子高齢化の進展、厳しい財政状況、地域主権改革、さらに平成28年度からの交付税の段階的縮減が迫っており、行政改革が必須の状況となっており、与謝野町行政改革大綱に基づき職員数の削減、公共施設への指定管理者制度の導入、事務事業の見直し等を行いました。

職員数については、合併時の320人から平成24年4月1日現在では267人と、53人の減少となりましたが、今後も採用抑制により削減を進めていくとしています。また、交付税の段階的縮減等による財源不足に備え、将来にわたり財政を健全に運営するための財政調整基金は14億6930万円となり、合併時から7億7200万円の積み立てを行うことができました。

しかしながら、まちの財政は依然厳しい状況にあるため、第2次行政改革大綱を策定し、さらなる行政改革を進めます。

### ●自治区との連携、コミュニティ活動への支援

本町は24区で自治組織が形成され

ており、コミュニティ活動やイベントの実施など自治会活動が活発です。そのため、まちづくり全般において、区長会等を通じた情報共有や、連携に努め、活動の拠点となる地区公民館や備品の整備も積極的に支援しました。

また、集落の集会所や公園広場などのコミュニティ環境整備、地域団体が取り組む地域活動についても積極的に支援しました。

### ●協働によるまちづくりの推進

行政のみではなく、住民・地域・事業者との協働によるまちづくりを推進するため、広報誌、ホームページ、有線テレビ等により情報の積極的な公開に努めました。また、皆さんの意見をまちづくりに活かすため、ホームページ投稿欄の設置、毎年開催している町政懇談会など広聴活動にも積極的に取り組みました。

地域との協働については、滝区、金屋区内の農業者等により「滝・金屋地域連合組織」が立ち上げられ、後継者不足や農地の荒廃など地域の抱える課題を解決する「共に育む『命の里』事業」に取り組みました。

また、リフレかやの里では、指定管理者のよさのうみ福祉会を中心に同連合組織、文化・工芸の里等の周辺施設、農業生産法人、丹後海陸交



昨年10月にリニューアルオープンしたリフレかやの里。運営協議会と協働して周辺地域全体の活性化を目指しています

これからの取り組みに見られるように、まちづくりへの住民の関心、参加が徐々に進んでいます。国の地域主権改革が推進される一方、人口減少、少子高齢化、厳しい財政事情等の社会情勢に対応していくためには、住民と行政が主体となって自ら地域のまちづくりを一層進める必要があります。

### ●ご意見をお寄せください

本特集や後期基本計画策定に対するご意見・質問等を、書面、ホームページ、投書箱などで企画財政課へお寄せください。なお、あらためて後期基本計画(案)に対するパブリックコメント(意見募集)の実施を予定していますので、その機会もご利用ください。

# 水・緑・空 笑顔かがやく ふれあいのまちへ

平成18年3月1日、新しいまち「与謝野町」が船出しました。これまで振り返ってきたように、この間、合併協議会で策定された「新町まちづくり計画」を引き継いだ「第1次与謝野町総合計画」に基づき、住民が主人公の「自助・共助・商助・公助」によるまちづくりが進められてきましたが、まだまだ多くの課題が残されています。

与謝野町総合計画審議会では、これまでのまちづくりの成果や現状と課題を踏まえ、総合計画で掲げるまちの将来像「水・緑・空 笑顔かがやくふれあいのまち」を目指して、後期基本計画の施策方針や主要事業などの検討を進める予定としています。



**さまざまな害があります！**

たばこが喫煙者の健康に害を及ぼすことは広く知られています。たばこの煙には4000種類以上の化学物質が含まれ、そのうちの200種類以上に有害作用があり、60種類以上の発がん性物質が含まれています。代表的な物質はニコチン、一酸化炭素、タール、カドミウム、ヒ素、アンモニア、ダイオキシン等です。

これらの成分は血管を収縮させ、血圧を上昇させるため、心臓や血管に大きな負担をかけ、心筋梗塞や脳卒中を引き起こす原因となります。また、肺がんや咽頭がん、胃がん等の発生リスクを高めます。

さらに循環器系の疾患やがん以外にも、胃潰瘍・十二指腸潰瘍などの消化器系、ぜんそくや気管支炎など



「体に悪い」と言われる「たばこ」。今回はその害と禁煙の必要性について詳しく紹介します。

**喫煙は「依存症」です**

禁煙を失敗した方は多いと思いますが、禁煙が難しいのは、たばこには強い依存性があるためです。たばこへの依存は「身体的依存」と「心理的依存」の2つがあります。

「身体的依存」とはニコチンが切れることで引き起こされる禁断症状のことです。ニコチンには強い依存性があり、薬物依存症の一種です。「心理的依存」とは習慣性依存とも言われ、「食後や目覚めの一服」といったように喫煙が生活習慣に組み込まれているため、癖のようにたばこを吸ってしまいます。

このため、禁煙は本人の決意だけでは成功しないことが多く、ニコチンガムやニコチンパッチなどの禁煙補助剤の利用も必要です。これらは薬局で購入できます。また、現在では禁煙外来を実施している医療機関も増えています（町立国保診療所でも実施）。

喫煙は保険診療で治療できる病気

の呼吸器系、さらに免疫力の低下や、歯周病など全身の疾患に大きく関係しており、年間10万人以上がたばこ関連の疾患で亡くなっていると推計されています。

**吸わない人の健康も脅かしています！**

喫煙は喫煙者の健康を害するだけでなく、周囲の非喫煙者の健康も害します。たばこの煙には喫煙者が直接吸いこむ「主流煙」と、火がついた部分から立ちのぼる「副流煙」があります。ニコチンなどの有害物質は主流煙よりも副流煙に多く含まれているため、周囲にいる人の健康も脅かしています。

非喫煙者が喫煙者と同じ空間にいて、たばこの煙を吸ってしまうことを「受動喫煙」と言います。「受動喫煙」でも心拍数の増加や血圧上昇が起こり、循環器系の疾患やがん発生の危険性を増大させます。乳幼児や妊婦などへの影響は特に大きく、ぜんそくや乳幼児突然死症候群の原因となったり、流産・低出生体重児の率を高めたりすると報告されています。



あなたとあなたの周囲の大切な人のために1日でも早く禁煙に取り組みましょう！

**「京都府受動喫煙防止憲章」が制定されました**

たばこの害は喫煙者自身の健康問題だけでなく、自らの意志とは関係なくたばこの煙を吸わされる周囲の人の健康を脅かしているため、府民の健康を守る観点から、平成24年3月に「京都府受動喫煙防止憲章」が制定されました。

この憲章は昨年11月に発足した有識者による「たばこ対策部会」での検討をもとに策定されたもので、公共性の高い、多人数が利用する施設における全面禁煙を推進していく行動指針となるものです（詳細は京都府のホームページに掲載されています）。



# 突然の大雨に注意しましょう！

## 集中豪雨・ゲリラ豪雨とは？

梅雨から夏、初秋にかけての時期は前線や気圧の谷の影響で集中豪雨が起りやすくなり、各地で家屋の浸水、河川の氾濫、土砂災害等の被害が後を絶ちません。

限られた地域で短時間に多量の雨が降ることを「集中豪雨」といいます。また、気象学的に明確な定義はありませんが、突然発生する集中豪雨のことを「ゲリラ豪雨」といいます。予測が困難であるため、多くの被害を発生させます。

## 集中豪雨の原因は？

集中豪雨の原因のほとんどは、前線の通過・接近によるものと「大気的不安定」などにより発達した積乱雲によるものです。

「大気的不安定」とは日射によって地表近くの大気が暖かいときに、上空に寒気が流れ込むことで発生した上昇気流によって、積乱雲が発生・発達した状態のことです。豪雨になりやすい状態に加えて、さらに大雨になる要素が重なると、1時間に100ミリ近い記録的大雨を引き起こすこともあります。

## 日頃から準備を！

集中豪雨が起きた際、すばやく対応するためには日頃からの準備が必要です。皆さんも自らの身を守るため、普段から次の4点を心がけ、準備・確認をしましょう。

- 1 住んでいる地域で過去に水害、土砂災害があったか確認しておきましょう。
- 2 避難場所、避難経路を確認しておきましょう。
- 3 非常時に持ち出す荷物の準備をしておきましょう。
- 4 テレビ・ラジオ・インターネットで最新の天気予報・災害情報を確認しましょう。

Study! 雨量のめやす 雨の予報に使われる1時間雨量と降り方を解説します

1時間の雨量	予報用語	人の受けるイメージ	災害発生状況
10～20ミリ	やや強い雨	ザーザーと降る	長く降り続く時は注意が必要
20～30ミリ	強い雨	土砂降り	側溝や下水・小さな川があふれ、小規模なけが崩れがある
30～50ミリ	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要
50～80ミリ	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	道路冠水や住宅への浸水など多くの被害が発生する
80ミリ以上	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる	雨による大規模な災害の発生するおそれが強い。厳重な注意が必要

## 第4回与謝野町消防団 消防操法大会

日時 6月17日(日) 午前8時～  
※荒天の場合6月24日に順延  
場所 野田川グラウンド

## 求む！消防団員

近年、消防団員が減少し、平均年齢の上昇が進む中、若い力の消防団活動への参加が強く期待されています。詳しくは、地域の消防団員または役場総務課(☎46-3004)へ。



いっしょに地域の安全を守りましょう！

平成24年度全国統一防火標語「消すまでは 出ない行かない 離れない」



**来**月、僕の国の首都ロンドンでオリンピックが開催されます。与謝野町出身のランナー木崎良子さんのオリンピック出場はすごい！僕も与謝野町民として応援しています！

イギリスで一番人気があるスポーツはサッカーです。しかし、イギリスでは、アメリカで一般に使われている「Soccer」は使わず、「Football」と言うのが普通です。世界で一番有名なサッカーの選手はイギリスのデビッド・ベッカムです。本当にすごいです！イギリスでサッカーはとても人気ですが、僕はあまり好きではありません。でも、僕のイギリスの友達はサッカーが大好きで、ときどき一緒に試合を見に行きました。サッカーの試合は面白くなかったですが、雰囲気は楽しく、友達と食事をしたり、話したりすることは気持ちが良かったです。



1級目指して頑張ってます！

日本では、野球が人気ですね。イギリスでは野球はあまりしません。少し珍しいですが、野球に似たクリケットがあります。バットとボールを使いますが、バットの形が違い、ボールは木製（プロのボールは柳の木）です。クリケットはすごく時間がかかります。プロの試合は、1日6時間ぐらいしても5日もかかります！大変だ！僕は、大学の頃フェンシングを頑張りました。2年ほど

しましたが、あまり上手になりませんでした。とても楽しいですが、難しかったです！上手な選手はすごかったです。今後もフェンシングをしたいと思います。日本にきてからは剣道を始めました。剣道は、フェンシングに似ていますが、違いもたくさんあります。たとえば、フェンシングは片手で武器を持ちますが、剣道は両手。フェンシングの武器は金属で作られ、剣道の「刀」は竹製です。フェンシングで一番使いやすい武器は「エペ」。フランス語です。「サーブル」と「フルーレ」もあるけど使いにくいですが、また、音も違います。剣道は、大きな声で「面」や「小手」と叫びますが、フェンシングは静か。足音と武器の音だけが聞こえて、とても緊張します。

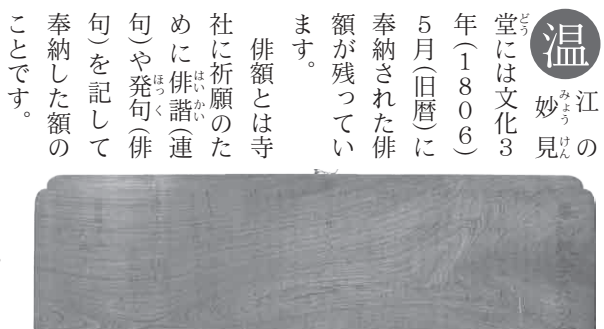
去年の5月から毎週月曜日、友達と弓道をしています。初めの時は全然できませんでしたが、少しずつ上達して、ついには的に当たりました！初めての的に当たったときのことは忘れられません。すごく気持ちよかったです。今、僕と友達は、弓道の1級を受験するため、一生懸命頑張っています。僕は全然自信はないですが、楽しみたいと思っています。もっともっと頑張ります！

皆さんも、オリンピックイヤーの今年は特に、いろいろなスポーツを楽しみましょうね！

時の贈り物 [第61回 温江妙見堂の俳額]

まちの文化財

温江妙見堂の「奉納四季発句合」冒頭に「奉納四季発句合」と題して、後野、加悦、加悦興、算所、香河、温江の俳人23名、京都の俳人2名の手による四季折々の俳句が1人1句ずつ書かれています。時季の俳句を以下に抜粋してみます。時季の水ややすみてかきつばた



俳額「奉納四季発句合」(温江 妙見堂)

丹後に残る俳額の多くは薄板の筆記面と四辺の枠材とで構成されますが、この俳額はケヤキの一枚板に飾り切りを施した、非常に重厚な作りとなっています。当地の俳額研究は小室洗心の『丹後俳額集』(1932)で広範になさ

とあり、京都の俳人西村定雅(1744-1826)の名が見られます。定雅は与謝蕪村の門人であり、京都で交流した人でもありました。ここに書かれた句は全て定雅の選によるものです。

時にまつわる本

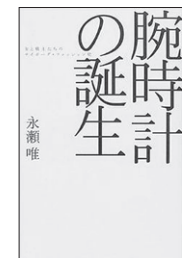
6月10日は時の記念日。天智天皇の時代に水時計を使い、初めて時刻が定められた日を記念に定められました。今月は「時間」にまつわる本を紹介します。



『時の旅人』

長野まゆみ/河出書房新社

浅草「十二階」の展望台から途方もないエネルギーによって放り出されてしまった主人公が見た時空を超えた風景とはいったいどんなものだったのでしょうか？東京を舞台に大正から平成にわたって時を超える少年たちの物語3作を収めた連作小説集。



『腕時計の誕生』

長瀬唯/廣済堂

携帯電話が普及し、持たない人も増えてきたと言われる腕時計ですが、まだまだ人々の生活に欠かせない道具の一つです。当初は装飾品としての側面が強かった腕時計が、より実用的に使われるようになっていった歴史について書かれています。

『時の迷路 恐竜時代から江戸時代まで』

香川元太郎/PHP 研究所

迷路でさまざまな時代に旅ができる1冊。見開きページにはその時代を代表するものや人が書かれます。隠された謎と時の石を見つけて、全ての迷路を抜けることができれば、歴史がもっと



『時間をまきもどせ!』

ナンシー・エチメンディ作 杉田比呂美絵/徳間書店

誰もが一度は思う「時間が巻き戻ったら」という願いを、もしもかなえられるとしたら？ある日、不思議な老人に、失敗を取り消すことができる機械を手渡された主人公。その夜、事故にあった妹を助けるため、この機械を使うことを思いつく…。



今月の新着図書

一般書 『おもしろいからあすじとイラストでわかる禅』

- 知的発見！探検隊/イースト・プレス ●『マヤ文明』 青山和夫/岩波書店 ●『ローマ法王に米を食べさせた男』 高野誠鮮/講談社
- 『親子で楽しめる絵本で英語をはじめの本』 木村千穂/ディスカヴァー・トゥエンティワン ●『北欧テイストのエコたわし』 主婦と生活社 ●『おいで、一緒に行こう』 森絵都/文藝春秋 ●『われ敗れたり コンピュータ棋戦のすべてを語る』 米長邦雄/中央公論新社 ●『僕らのはんは明日で待ってる』 瀬尾まいこ/幻冬舎 ●『サファイア』 湊かなえ/角川春樹事務所 ●『死命』 葉丸岳/文藝春秋 ●『西村賢太対話集』 西村賢太/新潮社 ●『マイクロワールド全2巻』 マイケル・クライトン/早川書房
- 児童書 ●『たこやきようちえんこうさくください！』 さいとうしのぶ/ポプラ社 ●『どこどこ？セブンもっと1』 キッズレーベル ●『あまがえるのあおちゃん』 高家博成/童心社 ●『だれも知らない犬たちのおはなし』 エミリー・ロッダ/あすなる書房 ●『あこがれお仕事いっぱい！せいふく図鑑』 勝倉峻太/学研教育出版 ●『カブトムシ&クワガタ百科』 安藤誠起/誠文堂新光社 ●『どうする？どうする？ほうしゃせん』 山田ふしぎ/大月書店 ●『おりがみでミュージカルごっこ』 いまいみさ/毎日新聞社 ●『だまし絵でわかる脳のしくみ』 竹内龍人/誠文堂新光社 ●『おひさまのおへんじシール』 茂市久美子/講談社 ●『大好きがやってくる』 小林深雪/講談社 ●『空のしっぽ』 名木田恵子/佼成出版社

Info

貸し出しできる冊数が10冊に増えます

1人が1度に借りられる本の冊数について現在5冊のところを7月1日から10冊に増やします。以前からご要望をいただいていたので、ぜひご利用ください。

- 貸出期間は2週間で、変更はありませんのでご注意ください。
- 予約受付件数についても1人あたり10冊までとなります。

端末をお貸ししています

無線 LAN (FREESPOT) を使って図書館内でインターネットが閲覧できるタブレット型端末 (Windows) を、本館に2台、加悦分室・野田川分室に各1台設置しました。

- 本の検索をはじめ、さまざまな調べものにご活用ください。
- 図書館カードをお持ちの方ご本人に限り、1時間お貸しします。 ※詳しくは図書館へお問い合わせください。

図書館おはなし会

- <本館> 七夕おはなし会 7月7日(土) 午後2時～
- <野田川> 6月16日(土) 午後3時～
- <加悦> 7月14日(土) 午後3時～

●問い合わせ先/与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087  
●開館時間/午前10時～午後6時 ●休館日/毎週月曜(本館・加悦分室)、毎週火曜(野田川分室)、毎月最終木曜(共通)





## まちの話題をお届けします

### ●浅水代かき実演会

#### 阿蘇海浄化に加えて温暖化防止へ！

5月9日、「浅水代かき実演会」が行われ、農家をはじめ多くの関係者らが参加しました。「代かき」とは田植え前に水田に水を張って平らにならす作業。このときに排出される肥料を含んだ水が阿蘇海の富栄養化の一因になっています。そのため、通常より少ない水で代かきを行い、落水を抑える「浅水代かき」をさらに普及しようと阿蘇海環境づくり協働会議が中心となって毎年開催されています。

加えて今年は、NPO法人「丹後の自然を守る会」が町内から回収した廃食油から作ったバイオディーゼル燃料（BDF）をトラクターに使用して行われました。「よさの百年の暮らし委員会（みらいふ）」の一員として参加した「丹後の自然を守る会」代表の蒲田充弘さんは、「浅水代かきにBDFを使用することで、阿蘇海の浄化だけでなく、温暖化防止にも貢献できる。普及が進み、環境にやさしい農業としてのさらなるイメージアップにつながれば」と話してくれました。



後野区の水田で行われた実演会。多くの人が見守りました。



松並木の中、いっせいにスタートする1区ランナーたち

### ●阿蘇海一周マラソン

#### 江陽中がアベック優勝！

かつては1人で阿蘇海を1周するマラソンとして競われた「阿蘇海一周マラソン」。現在は宮津・与謝管内の中学校が出場する駅伝大会として開催されています。今年も9校から男子12チーム（加悦、江陽、橋立、宮津は各2チーム、日置は不参加）、女子9チーム（各校1チーム）が出場し、中学生ランナーたちが天橋立をさっそうと駆け抜けました。

文殊付近をスタート・ゴールとする約12.8kmのコースを男子は4区間、女子は6区間にわけ、たすきをたぎます。

男子のレースは、江陽中Aが1区でトップに立つとアンカーまでそのまま順位を譲らずゴール！Bチームも4位に入り、男子の部で優勝しました。女子のレースも、終盤に加悦中をかわす逆転劇を見せた江陽中が制し、江陽中が見事アベック優勝を果たしました。

### ●第29回全国児童生徒俳句大会

#### あまたの句から見事選出されました！

5月4日、第29回「全国児童生徒俳句大会」の表彰式が大分県玖珠町立わらべの館で行われ、桑飼小6年の起須幸良さん（明石）が、全国から寄せられた1万6,281句から久留島武彦賞、文部科学大臣賞に次ぐ「朗人賞」を受賞し、その表彰を受けました。

起須さんの作品は「赤とんぼ この指とまれ 夢のせて」。大会選者の有馬朗人さんから高い評価を受け、「朗人賞」受賞となりました。

起須さんは「こんな賞をとることができて、とてもうれしい。これからもいい作品ができるように頑張りたい」と笑顔で語ってくれました。



朗人賞に輝いた起須さん



各工房では作品に見入ったり、職人と交流する来場者の姿が見られました。

### ●与謝野町文化・工芸の里「新緑の手仕事展」

#### 温かみあふれる手作りの作品が展示！

5月19日・20日の2日間にわたり与謝野町文化・工芸の里で「新緑の手仕事展」が開催され、工芸の里で創作活動を行っている職人たちによって、各工房で木工、家具、草木染織、手織り作品、つる工芸、トンボ玉、ブロンズ、布作品、ジュエリー、ニット、七宝焼体験、石鹼デコパージュ体験、洋服、コーヒー、絵画、書、レザー作品など個性豊かな手作りの作品が展示・販売されました。

訪れた人は温かみあふれる手作りの作品に心惹かれた様子で、製作過程の話や職人との交流も深めていました。

### ●双峰まつり・初夏の加悦鉄道まつり

#### 天候で明暗分かれたゴールデンウィークの行楽

ゴールデンウィーク恒例の「双峰まつり」が5月4日に、「初夏の加悦鉄道まつり」が5月4日・5日の両日にそれぞれ開催され、親子連れなど多くの人でにぎわいました。

5月4日に加悦双峰公園で開催された「双峰まつり」は、あいにくの雨模様となり、予定されていたステージイ



上/多くの来場者が参加し、大盛り上がりとなったピンゴ大会 下/シバザクラを受け取る参加者

ベントが中止となるなど、予定の変更はありましたが、会場をセンターハウスなどの室内に移して、与謝ウインドオーケストラによる演奏会や、ピンゴ大会、ゲームコーナーなどが催され、多くの人に参加しました。また、今年は先着300人にシバザクラが配布されました。「同じ花を植えることで地域がひとつに」との思いで無料で配布され、受け取った参加者には笑顔が見られました。

5月4日と5日の2日間にわたり加悦SL広場で開催された「初夏の加悦鉄道まつり」は、4日はあいにくの雨。しかし一転、5日はすばらしい五月晴れの1日となり、親子連れや鉄道ファンなど多くの人でにぎわいました。

国の重要文化財に指定されている「2号機関車」をはじめ多くの貴重な



上/再現列車の乗客たちはNPO法人「加悦鉄道保存会」による加悦鉄道の解説に耳を傾けていました 下/親子連れでにぎわう広場

機関車や車両の展示が行われているSL広場。無料配布された風船を片手にあこがれのSLに目を輝かせる子どもたちであふれました。

イベント中には広場内の120mの区間で再現列車が運行したほか、周遊列車「ロケット号」も運行。それらに乗った子どもたちからは笑顔で手を振る姿が見られました。

### ●加悦谷祭・岩滝祭・三河内曳山祭

#### 今年も各地区で春の例祭が盛大に開催！与謝野の春を盛り上げました

4月28日から5月4日にかけて「加悦谷祭」「岩滝祭」「三河内曳山祭」が盛大に開催され、与謝野の春を彩りました。

4月28日・29日に真夏のような陽気のもとで行われた「加悦谷祭」、くもり空の中で4月30日・5月1日に開催された「岩滝祭」では、各地で屋台や神輿がまちへ繰り出し、神社やまちで神楽の舞や太刀振りが奉納され、見る人たちを楽しませました。

5月3日・4日の「曳山祭」は両日も強く雨が降る中での開催となりましたが、山屋台・子共屋台・神楽殿等の巡行や倭文神社への神楽の奉納などが行われ、大いに盛り上がりました。



右/上/与謝野町役場前で岩滝連合によって披露された神楽。子どもたちも熱演しました 右/下/与謝の担い屋台をかつぐ男たち。まちを巡行した後、柴神社に奉納されました 左/あいにくの雨となった曳山祭。かっぱ姿で屋台を曳く姿が見られました





シリーズ⑤  
**男女共同参画**

女も男も自分らしく

多岐な仕事をこなす女性も、家事・育児もこなす男性も、それぞれが自分らしく活躍できる社会を目指します。

6/23 ~ 29 **男女共同参画週間**

平成24年度の男女共同参画週間は「男女共同参画による日本再生」を重点とします。

●キャッチフレーズ  
「あなたがいる わたしがいる 未来がある」

**KTRサポーターズクラブ 会員募集中!!**

KTRサポーターズクラブは地域の重要な交通手段KTRの利用促進を図り、KTRについて皆さんと共に考え、支援する活動をしています。

【申込方法】各庁舎にある入会申込書に記入、会費とともに役場窓口へ。  
【会費】一般会員1年1,000円  
3年3,000円  
【特典】  
●「KTR1日フリーきっぷ」と「まると丹後乗り放題きっぷ」が会員特別価格に  
●沿線のイベント等の情報が届く  
●列車利用で貯まるポイントカード進呈（満点で500円分の買い物に利用できます）

「子育て」をテーマに開催します  
すこやか子育てミーティング 企画財政課 ☎46-3084

**今年の町政懇談会は**  
平成18年度から毎年開催してきた町政懇談会。今年の子育て世代の方を中心に広くご意見をいただく機会として開催し、策定を進めている与謝野町総合計画の後期基本計画に活かしていきます。

**今年のテーマは「子育て」です!**  
昨年度は、テーマを「役場庁舎の統合について」に絞って開催し、皆さんから

●「すこやか子育てミーティング」開催日程

地域	会場	日時	保育ルーム
加悦地域	加悦地域公民館(ホール)	6/30(土) 午前10時~	日本間
岩滝地域	知遊館(研修室1、2、3)	7/1(日) 午後2時~	子育てふれあい室
野田川地域	野田川わくばる(会議室)	7/8(日) 午後7時~	教養文化室

**事前意見を募集します!**  
懇談会に先立ち、事前意見をメール等で募集します。意見・質問のある方は、ぜひお寄せください。  
【あて先】  
企画財政課  
e-mail: kikakuzaisei@town.yosano.lg.jp  
FAX 46-4630  
※郵送でもお寄せください

お気軽にご相談ください  
人権擁護委員 住民環境課 ☎44-2083

**住民の味方です**  
4月1日付で明石芙佐子(あかしふさこ)さんが人権擁護委員に再委嘱されました。

人権擁護委員とは、地域で人権思想を広め、人権侵害が起きないように見守り、人権を擁護していく法律大臣が委嘱した民間のボランティアの方です。

いじめ、差別、セクハラ、DVその他人権に関する問題でお悩みの方は、身近な人権擁護委員や法務局(☎22-2561)へお気軽にご相談ください。

●子どもの人権 110番  
☎0120-007-110 (全国共通フリーダイヤル)  
●女性の人権ホットライン ☎0570-070810 (全国共通ナビダイヤル)  
●インターネット人権相談窓口  
法務省インターネット人権相談受付窓口ページ  
URL: <http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken113.html>



**第1回 与謝蕪村顕彰 与謝野町俳句大会**

初開催が決定しました!  
俳句のまち「与謝野」  
与謝野町は江戸時代の俳人・与謝蕪村の母のふるさとと伝えられています。蕪村はこの地で「丹波の加悦といふ所にて」と書き、名句「夏河を越すうれしさよ手に草履」を詠みました。そんな蕪村ゆかりのこの地で、平成8年から始まった「江山文庫俳句大賞」は、国内外から応募をいただく一大俳句大会として親しまれてきました。

また、昨秋の国民文化祭での「与謝蕪村顕彰 俳句大会」は、2万5000句以上の俳句が寄せられ盛大に開催されました。

**新たに俳句大会を開催します!**  
こうした伝統を継承し、まちの文化としての俳句をいっそう発展させるため、このたび新たに「第1回 与謝蕪村

**事前投句作品を募集します**

また、俳句に添えられた前書きとともに作品を評価する新しい試み「前書俳句」も行い、蕪村の顕彰にも取り組み、文化の香り高い「俳句のまち 与謝野」を全国に発信します。詳しい募集要項は、最寄りの地域振興課でお渡ししますので、お越しください。

受付期間は6月1日から7月31日です!  
【事前投句応募受付期間】  
6月1日(金)~7月31日(火)  
当日消印有効

【応募規定】  
すべて未発表作品に限る  
●事前投句(2種類)  
①自由題3句  
3句1組 1人1組に限る  
②前書俳句  
1人1句に限る  
●前書俳句には、その句の背景や舞台などを30字以内で書き添えてください。  
※①・②双方または、①のみ、②のみに応募できます

●当日投句  
1人1句に限る

【応募料】  
事前投句 1人1000円  
当日投句 無料

【選考】  
●自由題3句  
宇多喜代子氏  
●前書俳句  
茨木和生氏・大石悦子氏

【俳句大会】  
10月28日(日) 知遊館  
午前9時~午後3時30分  
【応募先・問い合わせ先】  
与謝野町立江山文庫  
☎43-2180  
FAX 43-2171

顕彰 与謝野町俳句大会」を開催します。また、あわせて初心者向け俳句教室を開催し、さらなる俳句文化の振興を図ります。



**平成Buson俳句大賞**  
上述の俳句募集とは別に、与謝野町内の学校に限定して、小・中・高校生向けの俳句作品を募集し、10月28日の俳句大会で入賞作品を表彰します。

【募集作品】  
自由題1人1句  
未発表作品に限る

【募集期間】  
6月1日(金)~9月7日(金)

【応募料】 無料  
※応募については、学校を通じてお知らせします。



今月の納期

7/2 (月)まで

町府民税第1期  
国民健康保険税第1期  
介護保険料第1期

夜間納税窓口

6/28(木)29(金)7/2(月)  
いずれも午後8時まで  
野田川庁舎(税務課)  
※納付書ご持参ください

- 与謝野町役場 46-3001 (代表)
岩滝地域振興課 46-3002 総務課 46-3003 46-3004(消防安全係) 企画財政課 46-3084 46-3085(情報システム係) 建設課 46-3267 商工観光課 46-3269 会計室 46-3007
野田川庁舎 44-2081 (代表)
野田川地域振興課 44-2082 住民環境課 44-2083 税務課 44-2084 水道課 44-2085 下水道課 44-2086
加悦庁舎 43-1511 (代表)
加悦地域振興課 43-1512 福祉課 43-1513 保健課 43-1514 農林課 43-2191 議会事務局 43-0215 教育委員会 教育総務課 43-2192 教育委員会 教育推進課 43-2193



介護保険料の基準額を改定しました

与謝野町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画 福祉課 ☎ 43-1513

Table with 4 columns: 所得段階, 対象となる方, 保険料の料率, 保険料(年額・円). Rows 1-9 detailing income levels and corresponding insurance rates.

※1 老齢福祉年金 明治44年(1911年)4月1日以前に生まれた方、または大正5年(1916年)4月1日以前に生まれた方が受けている年金です。
※2 合計所得金額「所得」とは、実際の「収入」から「必要経費の相当額」を差し引いた額です。

特別徴収と普通徴収
介護保険料は、年金から年6回に分けて天引きする「特別徴収」または納付書で個別に支払っていただく「普通徴収」のいずれかの方法で納付いただきます。通常は特別徴収ですが、年金が年額18万円未満の方は、満65歳になってから約半年間の方、修正申告をした方で保険料の所得段階が変更になつてから当面の間

適正な運営のためご理解とご協力をお願いいたします!
介護保険制度は、住民どうしが支えあう相互扶助の制度です。そのため、負担の公平感を損ねると成り立たない制度ですので、納付についてご理解とご協力をお願いいたします。

介護保険料を改定しました!
与謝野町では、介護サービスの充実に取り組むため、平成24年度から26年度までの

「与謝野町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」をこのほど策定し、その中で満65歳以上の方に納付いただく介護保険料についても改めて金額設定を行いました。

与謝野町の平成24年度から26年度までの基準額は、5万9700円(年額)です。その基準額をもとに、所得によって1~9段階の保険料に分かれます(表)。

保険料を滞納すると...
介護保険料を滞納すると、介護サービスを受けた費用の保険給付分が全て償還払い(利用者の立替払い)となつたり、利用者負担分が通常の1割負担から3割負担に引き上げられたり、さらには不動産の差し押さえといった処分の対象となります。

町内に配布している広報誌には掲載しています



※この欄で紹介する出生とお悔やみは、4月16日から5月15日までの届け出分です。また、役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています。

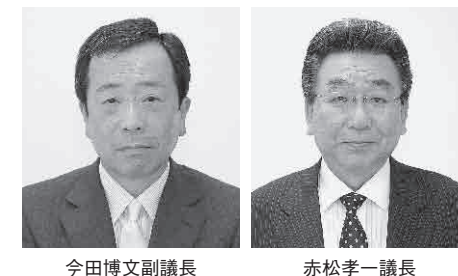


新しい正副議長が決定しました!

与謝野町議会

議会事務局 ☎ 43-0215

Profile
●あかまつ こういち
野田川町議を5期務め、総務産業委員会委員長等の要職を歴任。平成18年に与謝野町議に初当選。現在2期目
●いまだ ひろみ
加悦町議を3期務め、議長等を歴任。平成18年に与謝野町議に初当選。現在2期目



今田博文副議長

赤松孝一議長

議会の円滑な運営に努めます!
5月9日に行われた与謝野町議会5月臨時会で、正副議長選挙が行われ、議長に赤松孝一さんが、副議長に今田博文さんが選ばれました。任期は、申し合わせにより平成26年4月15日までの2年間です。

新体制で心新たに交通事故ゼロを目指します!

交通安全対策委員会だより

総務課 ☎ 46-3003



交通安全対策委員
町民を交通事故から守るため、交通安全思想の普及や啓発、交通安全対策の策定などを行う与謝野町交通安全対策委員会の委員委嘱式を4月4日、野田川わくばるで開催しました。

交通安全対策委員会
交通安全対策委員会は、与謝野町合併後に発足してから3期6年が経過し、今期は、平成23年度に配置した交通指導員とのさらなる連携を図り、活動することとなりました。

交通安全対策委員委嘱式



5月9日、委員らが出席して行われた「幼児交通安全教育に係る懇談会」



与謝野町役場前で交通安全立番をする職員

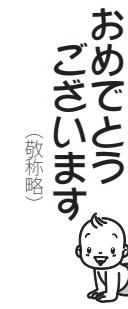
交通安全を呼びかけました
春の全国交通安全運動(4月6日~15日)および交通事故死亡ゼロを目指す日(4月10日)が実施され、交通安全対策委員は、各種団体とともに街頭で交通安全啓発を実施しました。小・中学校の通学路や各庁舎前などの街頭に立ち、シートベルト着用や交通事故防止を呼びかけました。

交通安全を呼びかけました
春の全国交通安全運動(4月6日~15日)および交通事故死亡ゼロを目指す日(4月10日)が実施され、交通安全対策委員は、各種団体とともに街頭で交通安全啓発を実施しました。小・中学校の通学路や各庁舎前などの街頭に立ち、シートベルト着用や交通事故防止を呼びかけました。

交通安全対策委員

- 【会長】 矢野有規雄(幾地)
【副会長】 安田 善一(三河内)
【加悦支部】
○藤田 至(温江)
○大槻 浩巳(写謝)
羽尻 哲夫(後野)
明石 延子(加悦)
松井 崇治(算所)
西原 裕之(滝)
岡田 秀子(金屋)
山崎 浩明(石)
吉田 光枝(明石)
【岩滝支部】
○澤田 嘉巳(石田)
○糸井 邦彦(浜町)
楠田 真弘(立町)
飯澤麻美子(浜町)
石出 一乃(勇山)
【野田川支部】
○福井 博康(幾地)
○伊達 英徳(下山田)
倉橋 幸弘(三河内)
増田 明美(三河内)
安田 敏博(岩屋)
山添 一廣(岩屋)
石田美智代(岩屋)
中本 裕之(幾地)
小西千恵子(幾地)
安見 久子(上山田)
茂籠 進(下山田)
河邊 知己(石川)
金谷 壽士(石川)
宮 絹子(石川)
※敬称略。◎は支部長。○は副支部長。

町内に配布している広報誌には掲載しています



まちのうごき
平成24年4月末現在
人口 24,113人(+11)
男 11,448人(-1)
女 12,665人(+12)
世帯数 9,165戸(+42)
※括弧内は前月比





# 椿築輪

## 若手建築家グループ

### 若い力で地域の活性化に貢献！

「以前からこういつた団体を  
つくり地域のために活動したい  
と思っていた」と語るのはメン  
バーの井上毅さん。なかなか地  
域で顔を覚えてもらえず、「父  
親の名前を出せば、わかっても  
らえるが、これから先、地域で  
活動するにはこれではいけない  
い」と思っていたと言います。  
「若い人たちが団体を作り、エ  
ネルギッシュに活動すれば、地  
域を活性化でき、顔を覚えても  
らえる」と考え、小西直人さん、  
西原清隆さんに相談。さらに地  
域の同業者に声をかけました。  
この発案から「椿築輪」結成ま  
では2カ月ほど。「意外なほど  
皆賛成してくれた」と、すぐに  
現在の13人のメンバーが集まり



左から右回りに、小田大輔さん（金屋）、石川清隆さん（金屋）、森垣和哉さん（金屋）、小西直人さん（代表・滝）、西原清隆さん（滝）、井上毅さん（金屋）、小西幸喜さん（金屋）、坂田直樹さん（与謝）、砂後隆正さん（与謝）、砂後佑樹さん（金屋）

ました。

結成後、具体的な活動へ向け、  
数回の会合を重ねて話し合い、  
まずは、春の地域イベント「滝  
の千年ツバキ祭」と「双峰まつ  
り」に参加することにしました。  
2月頃から話し合いを始め、  
ゲームコーナーとして輪投げと  
ボール入れを

出店すること  
に決め、準備  
を開始。仕事  
柄、メンバー  
にとつてセッ  
トを作るのは  
お手の物で、  
見事なセット  
が完成し、与  
謝保育園の園  
児たちの手形  
でカラフルな  
デザインの模  
様をつけまし  
た。

とウインドブレーカーも作成し  
て準備は万全！ついに椿築輪デ  
ビューとなる4月15日、滝の千  
年ツバキまつりを迎えました。  
天候にも恵まれ、多くの人で  
にぎわった当日は、椿築輪の  
ゲームコーナーも大人気。たく  
さんの子どもたちがボール入れ  
と輪投げを楽しみ、たくさん  
笑顔が見られました。続いて参  
加した双峰まつりはあいにくの  
雨模様でしたが、室内で開催さ  
れ、ゲームコーナーも室内に設  
置されました。ここでも人気の  
アトラクションとなり、子ども  
たちだけでなくお年寄りもゲー  
ムを楽しむ姿が見られ、メン  
バーの表情にも笑顔。  
初の活動で成功を収め、今回  
の地域の祭りへの参加について  
「地域の祭りに参加できたこと、  
そして、若い人が参加してくれ  
て祭りが盛り上がったと地域の  
人たちに笑顔で言ってもらえた  
ことがうれしい」とメンバーの  
大木繁喜さん（滝）は語ってく  
れました。  
発起、結成から初の活動ま



滝の千年ツバキまつりでのゲームコーナー。メンバーは左から写真中央に座る小西伸吾さん（滝）、砂後隆正さん、小西敏典さん（滝）

でいつきに駆け抜けてきたメン  
バーたち。「とりあえずこの祭  
りへの参加のことだけ考えて  
やってきた。今後の活動につい  
ては地域の活性化のために自分  
たちにどのようなことができる  
のか考えながら、探りながら進  
めていきたい。そのために会合  
で話し合ったり、勉強会なども  
開いて活動を発展させていき  
たい」と今後の活動や地域活性化  
について熱い思いを語ってくれ  
ました。若く、行動力あふれる  
彼らの今後の活躍に期待です！

つばきのわ ●平成23年11月結成。与謝・滝・金屋地区の建設業、瓦店、電気店、造園業、塗装業など建築関係を営む若手建築家グループ。地域活性化へ得意分野を活かして活動中。